

健診検査センターニュース

No.435 号

運営委員会より

10月21日（木）平成22年度第7回の委員会を開催いたしました。

1. 特定健診について

特定健診9月の実施件数は、下記のとおりでした。

	9月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率
函館市国保	1,065名（- 3）	4,743名（-231）	8.2%
後期高齢者	221名（+ 61）	1,035名（+180）	受診対象者 58,135人 目標受診率 45%
その他	216名（+ 6）	834名（+132）	
合 計	1,502名（+ 64）	6,612名（+ 81）	

個別健診実施機関：92施設／登録機関 115

残暑が厳しい9月でしたが、秋空とともに受診者が増え、わずかですが昨年を上回る受診者数となりました。10月は例年受診者数が多く、皆様にはご苦勞をおかけしていると思いますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 22年9月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	9月（前年同月比）	22年度累計（前年比）
一般検査収入	102.8%	99.0%
健診収入	119.3%	102.7%
合 計	108.8%	100.4%

3. 平成22年度函館市職員健康診断の実施報告がありました。

受診者は前年度に比べ7名増の197人でした。健診の立会い医にご協力いただきました耳鼻科会並びに眼科医会に感謝申し上げます。

4. 平成22年度函館市医師会・家族並びに従業員の定期健康診断の実施についてご案内いたします。（例年同様、年2回実施します）

- ① 1回目の予約受付期間は、11月1日（月）～11月8日（月）です。
- ② 医師国保に加入している方の個人負担金はありません。
- ③ 本健診は特定健康診査を含んでおり、別途特定健康診査を受ける必要はありません。
- ④ 詳細につきましては、10月25日（月）より配布いたします「ご案内」を参照ください。

《 ちょっと一言 》

あんなに暑かった夏から、秋を忘れてしまったかのように、本日、初雪が降ったここ函館であります。皆様、如何お過ごしでしょうか？

私、個人的には、結婚式祝辞、看護学校載帽式祝辞、大学の医局だより原稿等々と、「原稿書きまくり月間」となっております。もう少し、学生時代に「国語」をしっかりと勉強すべきだったと、およそ、30年位前の事を悔やんでおります……。

さて、ワクチン接種もはじまり、地方によってはポツリポツリと出現しているインフルエンザですが、今回、このコーナーでは、インフルエンザ薬のご紹介を……。これは、ためになる！！ハズ……。保存版ですね！！

というのも、新薬が承認され治療の選択肢が広がったのでご紹介いたします。なお、詳細は添付文書をご覧くださいね。

まずは、従来薬から・・(商品名のみ)

- 1) タミフル：内服 1日2回 5日間
- 2) リレンザ：吸入 1日2回 5日間

で、新薬登場！！

- 3) ラピアクタ：300mg 単回点滴静注

インフルエンザ薬としては、初めての点滴静注薬です。

特徴としては、基本的には単回点滴投与で治療が完結する。そのため、高齢者等の服薬コンプライアンスに懸念がある患者さんでは、外来でも積極的な使用が見込まれる。

新型インフルエンザなどへの感受性が高いことも明らかになっている。

- 4) イナビル：40mg 単回吸入

先日承認された4番目のインフルエンザ治療薬です。

1回吸入投与で5日間効果が持続し、リレンザと同等の効果が得られる。

というわけで、新薬はいずれも単回投与で治療完結するという、メリットがあるようです。

本当に急に寒くなってまいりましたが、体調管理に注意して頑張ってください！！

(あ、これは自分に言い聞かせているわけでありませぬ……)

なお、各製薬会社との強い結びつき等はございませんので……。

(文責 広報部 平山繁樹)

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

この度、下記の検査項目の検査方法を変更させて頂くことになりましたので、お知らせいたします。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成22年12月3日(金)より変更

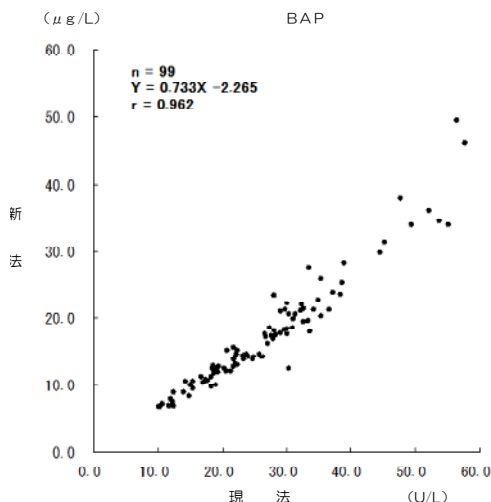
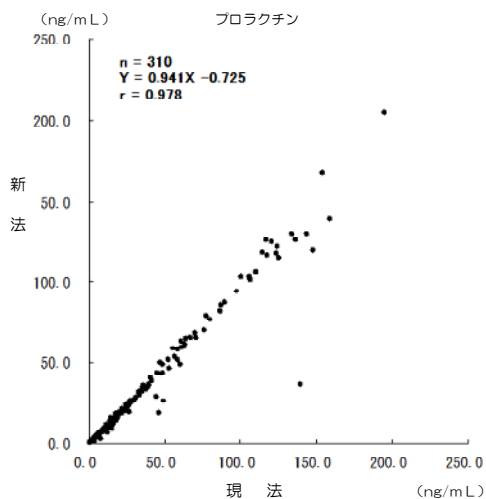
変更項目：1510 プロラクチン(PRL)
1491

	(新)	(旧)
検査方法	ECLIA	CLIA
基準値	男性 4.29 ~ 13.69 閉経前女性 4.91 ~ 29.32 閉経後女性 3.12 ~ 15.39 (ng/mL)	M 3.58 ~ 12.78 F 6.12 ~ 30.54 (ng/mL)
検体量	血清 0.4 mL	血清 0.5 mL
備考	マクロプロラクチンの影響がより少ない試薬に変更させていただきます。併せて、検査方法、基準値を変更させていただきます。新基準値は、文献値です。また検体量を削減いたします。	

変更項目：1152 骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	EIA
基準値	男性 3.7 ~ 20.9 閉経前女性 2.9 ~ 14.5 閉経後女性 3.8 ~ 22.6	男性 13.0 ~ 33.9 女性 9.6 ~ 35.4 判定基準：総合検査案内参照
単位	μg/L	U/L
検体量	血清 0.8 mL	血清 0.2 mL
所要日数	3 ~ 5 日	4 ~ 6 日
備考	測定試薬を変更させていただきます。併せて、検査方法、基準値、検体量を変更いたします。基準値は文献値です。また、所要日数を短縮いたします。	

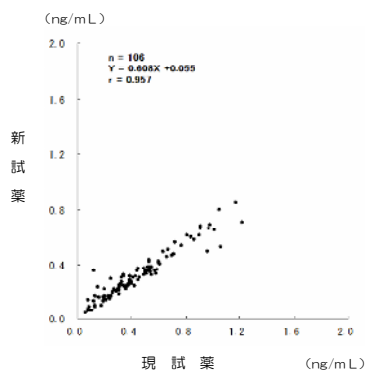
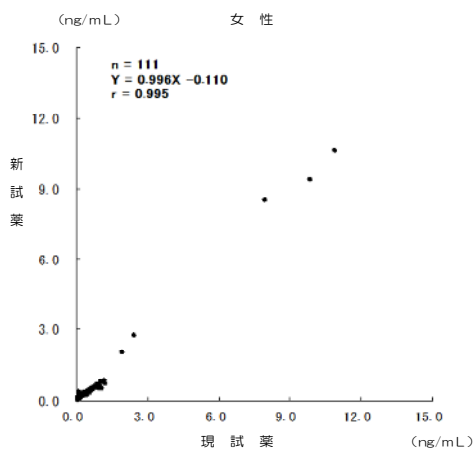
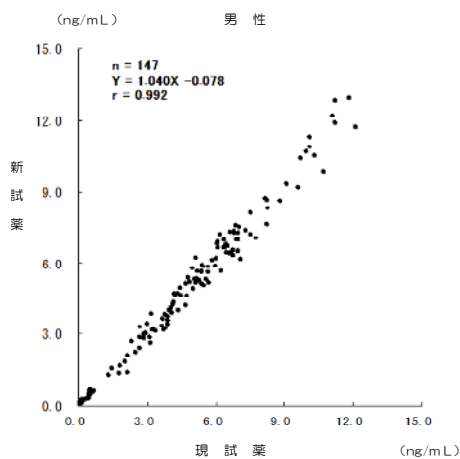
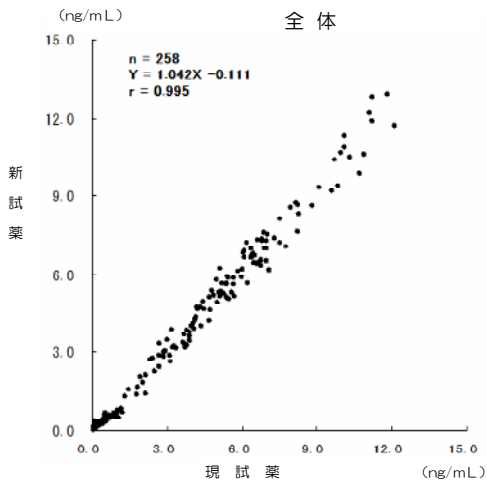
旧法と新法の比較：



変更項目： 1679 テストステロン

	(新)	(旧)
基準値	M 1.31 ~ 8.71 F 0.11 ~ 0.47 (ng/mL)	M 2.07 ~ 7.61 F 0.13 ~ 0.69 (ng/mL)
備考	女性検体においてDHEAの影響による非特異反応が軽減された改良試薬に変更させていただきます。試薬変更に伴い、基準値を変更させていただきます。新基準値は、文献値です。	

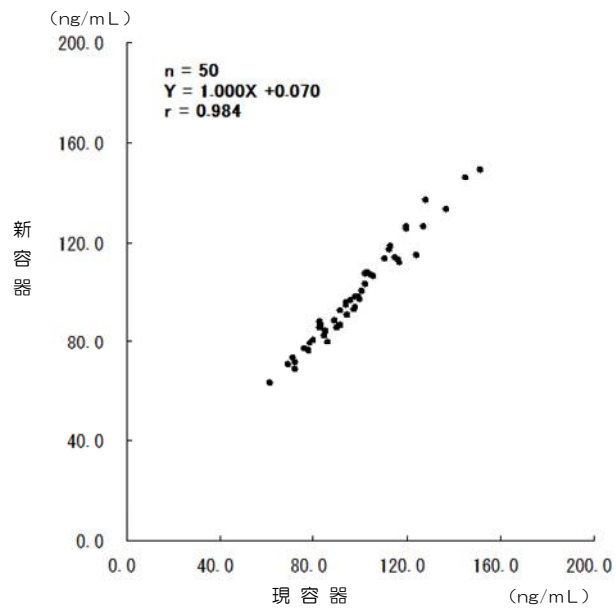
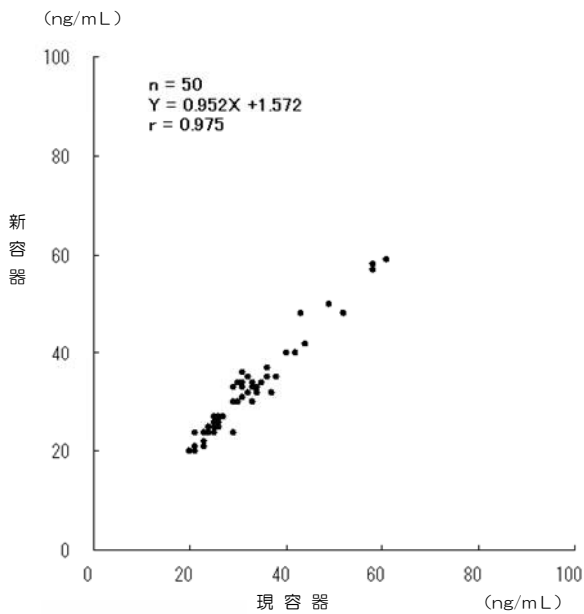
旧法と新法の比較：



変更項目： 1170 ビタミンB₁
 1180 ビタミンB₂

	(新)	(旧)
容器	専用容器 g1 (EDTA-2K 入り)	専用容器 C (EDTA-2Na 入り)
備考	破損防止のため、管の太い採血管への変更。	

旧容器と新容器の比較：



新容器形状：



(g1) (真空採血量 2mL)

内容 EDTA-2K 3.6mg
 貯蔵方法 室温
 有効期間 1年

このたびの変更に伴い、専用容器 g1 の容器ラベルは写真の形状になります。

変更項目： 4130 β-トロンボグロブリン(β-TG)
 4131 血小板第4因子(PF-4)

新容器形状：

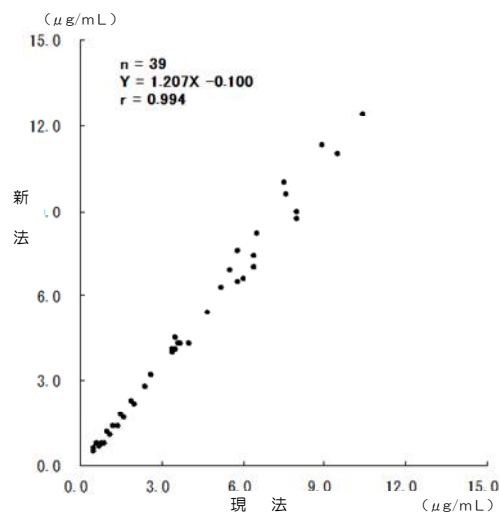


変更箇所	新	現
容器有効期間	1年	1年6ヵ月
検体取扱方法 (一部)	(採血後、容器Qに注入し、転倒混和し冷却した後) 1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。	(採血後、容器Qに注入し、転倒混和し冷却した後) 3時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。
(真空採血禁止) 抗血小板剤入り 内容 テオフィリン、アデノシン、ジピリダモール クエン酸ナトリウム、クエン酸 貯蔵方法 遮光、冷蔵 有効期間 1年		

変更項目： 1779 ゲンタマイシン

	(新)	(旧)
検査方法	EIA	FPIA
基準値	Peak 4.0 ~ 10.0 Trough 2.0 以下(μg/mL)	Peak 4 ~ 10 Trough 2 以下(μg/mL)
検体量	血清 0.4 mL	血清 0.2 mL
採血時刻	筋注後 15 ~ 60 分 点滴静注終了後 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	点滴静注後 30 分以内 筋注後 1 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)
備考	現試薬販売中止に伴い、試薬を変更させていただきます。 併せて、基準値、検体量、採血時刻を変更させていただきます。新基準値は、メーカー設定値です。	

旧試薬と新試薬の比較：



変更項目： 2808 キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕

	(新)	(旧)
材 料	血液 7.0 mL 骨髄液 1.0 mL (骨髄液の保存：冷蔵、容器：H)	血液 7.0 mL
備 考	材料（骨髄液）の追加。	

変更項目： 2776 キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕

	(新)	(旧)
材 料	血液 7.0 mL 骨髄液 1.0 mL 臍帯血 1.0 mL (骨髄液・臍帯血の保存：冷蔵、 容器：H)	血液 7.0 mL
備 考	材料（骨髄液・臍帯血）の追加。	

変更項目： 1184 エリスロポエチン

	(新)	(旧)
単 位	mlU/mL	mU/mL
備 考	単位表記の変更。	

変更項目： 1696 サイクリック AMP

	(新)	(旧)
所要日数	4～10日	6～8日
備 考	同時報告可能な最短の所要日数への変更。	

変更項目： 2572 サイクリック GMP

	(新)	(旧)
所要日数	4～10日	6～12日
備 考	同時報告可能な最短の所要日数への変更。	

変更項目： 1774 キニジン

	(新)	(旧)
所要日数	3～9日	5～11日
備 考	所要日数の短縮。	

変更項目： 4116 凝固因子活性検査第Ⅱ因子(F2)
 4117 凝固因子活性検査第Ⅴ因子(F5)
 4118 凝固因子活性検査第Ⅶ因子(F7)
 4119 凝固因子活性検査第Ⅷ因子(F8)
 4120 凝固因子活性検査第Ⅹ因子(F10)
 4122 凝固因子活性検査第Ⅺ因子(F11)
 4123 凝固因子活性検査第Ⅻ因子(F12)

	(新)	(旧)
所要日数	3～5日	3～9日
備考	所要日数の短縮。	

変更項目： 4125 凝固抑制因子検査第Ⅷ(8)因子

	(新)	(旧)
所要日数	3～5日	3～6日
備考	所要日数の短縮。	

変更項目： 4126 凝固抑制因子検査第Ⅸ(9)因子

	(新)	(旧)
所要日数	3～5日	3～7日
備考	所要日数の短縮。	

検査受託中止のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目の受託を中止させていただくことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

受託中止日：平成22年12月2日（木）より受託中止

中止項目：1771 ジギトキシン

備考	ジギトキシン製剤の販売中止のため。
----	-------------------

中止項目：4322 抗DNA抗体(DNAテスト)

備考	保点削除および受注数僅少のため。
----	------------------

中止項目：4823 クラミジアトラコマティス抗原〔FA〕
2420 7染色体
2324 K-ras codon12点突然変異

備考	受注数僅少のため。
----	-----------

社) 函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
E-mail : hako-ken@sea.ncv.ne.jp